

森林インストラクターの森 活動報告

- <活動日時> 2023 年 7 月 9 日(日) 9:00 ~12:00
< 天 気 > 曇りのち晴れ
< 参加者 > 池田、近江、沖本、田崎、毛利、横山、芳野
< 報告者 > 毛利
<活動内容> 間伐、下刈／
広場用地周辺の間伐(伐倒研修兼ねる)、植栽地域に繁茂するシダ類の下刈りなど

森林インストラクターの森への入り口が分からない程、繁茂した草をかき分け現場到着。今にも雨が降り出しそうな空模様の中、間伐と下刈り担当に分かれて作業を開始した。

森林インストラクターの森初心者の私は間伐担当(研修)となり、ピンクテープで間伐する木を選別、受け口・追い口の作り方、退避範囲の考え方、樹高の簡易確認法などを大先輩から丁寧に教えていただいた。間伐をするのは今回が初めてではなかったが、直径が 15 ㍉を越える(自分の中では大物)ヒノキを切ったのは初めてだった。手ノコでの伐倒はなかなか気合いが必要な作業だった。想定した方向に伐倒した後のヒノキは、数枚輪切りにしていただき記念にお土産に持ち帰った。この時期の木は水分が多いため、輪切りヒノキの樹皮はとても簡単に剥けたが、逆に水分が多いため気を付けて乾燥させないと割れやすいとのことだった。濡れ新聞に包む、風呂場で乾燥させる、などの対応を教えていただいた。上手く乾燥させられたら、鍋敷きにする予定。



伐倒完了！

森の中で巻き枯らしのヒノキを見掛けたので、巻き枯らしについても少し話を伺った。巻き枯らしの利点は、樹皮を剥いてしまえば人手が要らない点だが、木が倒れるまで 5 年から 10 年程の時間を要するとの事。たとえば木が倒れるまで時間を要したとしてもそれまでの間に葉が落ちるだけでも林床に日が入り意味があるそうだ。今後も巻き枯らしのヒノキの様子を観察していきたい。

下刈りの様子



作業中



作業後(スッキリ！)

森林インストラクターの森の様子



ヤブデマリの実



何者かに壊されたミツバチの巣



作業後は、デッキにテーブルと椅子を準備しランチ。雨雲もすっかり消え、アツアツのコーヒーを皆でいただいた。朝、作業前には埋もれていた森林インストラクターの森への入り口も、本日の作業で草を刈っていただきとても歩きやすくなっていた。

色々ご指導いただき有り難うございました。今後ともよろしく願いいたします 😊